

トップメッセージ

デバイスメーカーの設備投資はやや慎重に推移、次世代デバイス向け設備引き合いは引き続き活発でした。

工場稼働率は良好に推移、効率的な生産、原価管理等により利益率の改善に努めました。



代表取締役社長

小俣 邦正

Kunimasa Omata

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年9月30日）における世界経済は、米国が着実な景気回復を続けていますが、中国向け輸入関税を発動したことで米中貿易摩擦が深刻化しました。欧州ではユーロ圏で景気が緩やかに回復する一方で、南欧の政治リスクが懸念されました。国内経済も緩やかな拡大が続きましたが、相次いだ自然災害や中国経済に対する米中貿易摩擦の影響が不安視される状況となりました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、スマートフォン関連や電装化が進む車載関連の市場を中心とした電子部品の生産増勢は鈍化しました。そのため増産設備投資の一部にやや慎重な動きが出てきました。一方で、電子デバイスメーカー各社の製品開発への取り組み姿勢は意欲的に推移しており、次世代製品向けの設備投資の引合いは引き続き活発に推移しました。

こうした環境の中、当社グループでは好調な市場を捉え、既存分野への深掘りによる拡販を推進する

とともに、既存技術応用分野や新規市場の開拓に注力しました。また、次世代製品に向けた電子デバイスメーカーからの依頼実験や製品開発にも引き続き意欲的に取り組むことで事業の拡大を図ってまいりました。

生産面では、前期の受注残を背景に上期の生産量は安定し、工場の稼働率は良好に推移しました。また、品質向上に向けてメンテナンス性改善や社内検査の強化などに取り組みました。

損益面では、良好な稼働率をベースに効率的な生産に取り組むと共に、個別原価管理の強化等により利益率の改善に努めました。一方で、光学装置の受注見込案件の確定が一部下期へずれ込み、売上予定案件の一部についても客先からの納期変更により下期計上となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は47億29百万円（前年同四半期比10.7%減）、売上高は56億41百万円（同5.6%減）となりました。

損益につきましては、経常利益6億90百万円（前年同四半期比24.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億42百万円（同41.6%減）となりました。

決算ダイジェスト

売上高

5,641百万円

営業利益

681百万円

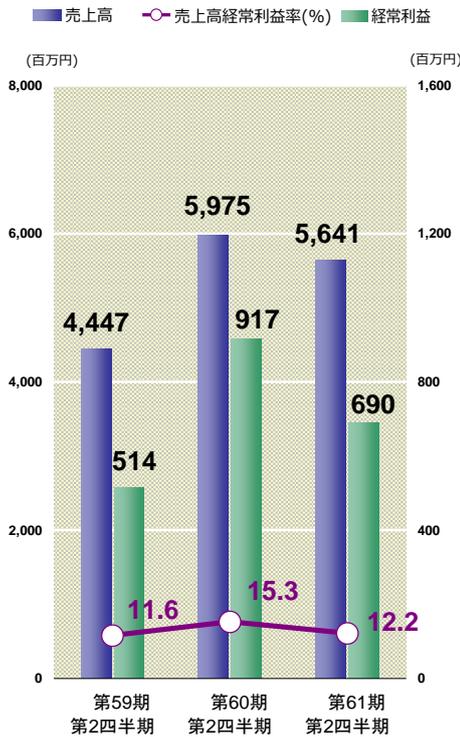
経常利益

690百万円

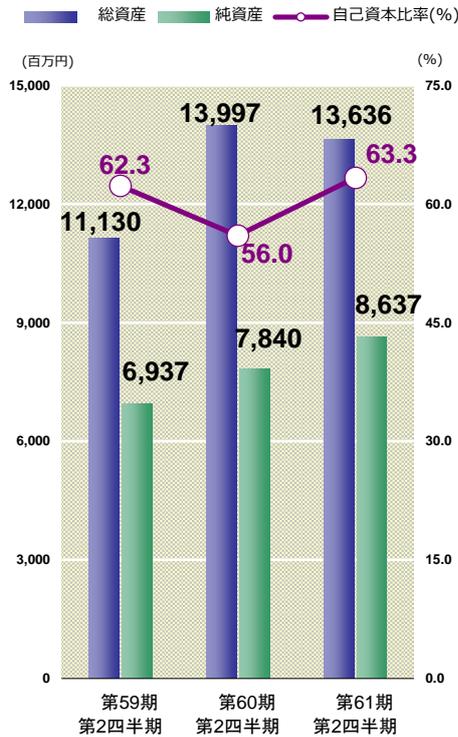
親会社株主に帰属する
四半期純利益

442百万円

売上高・経常利益・売上高経常利益率



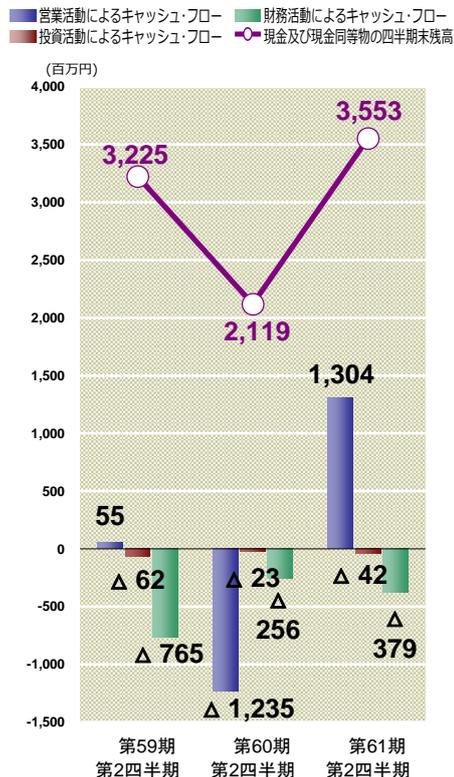
総資産・純資産・自己資本比率



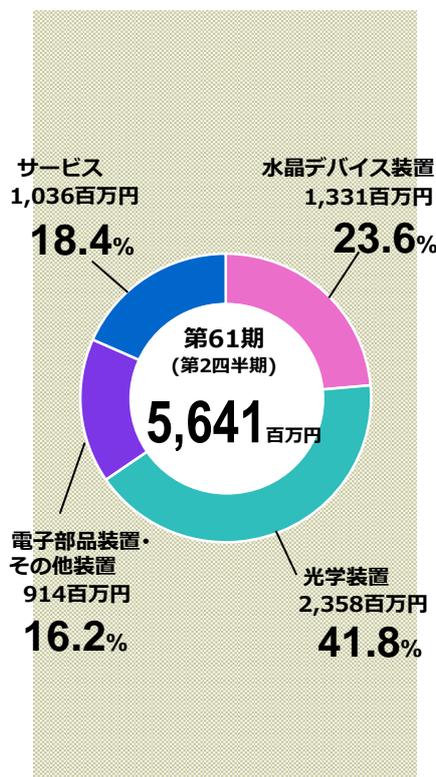
流動比率



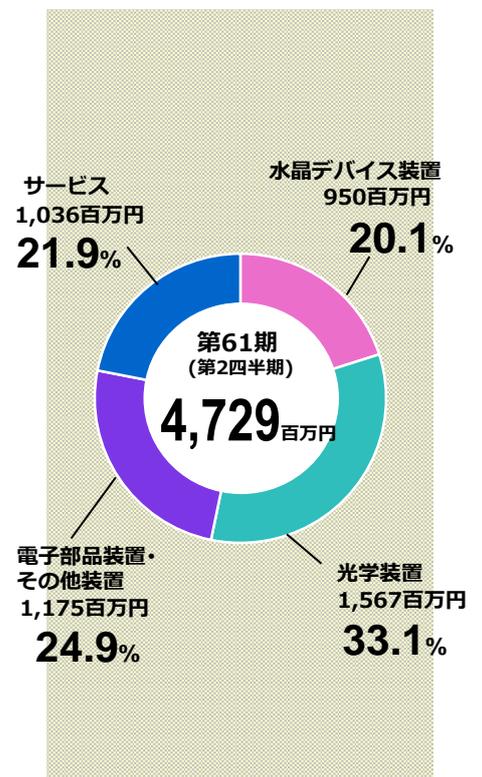
キャッシュ・フロー



品目別売上高構成比



品目別受注高構成比

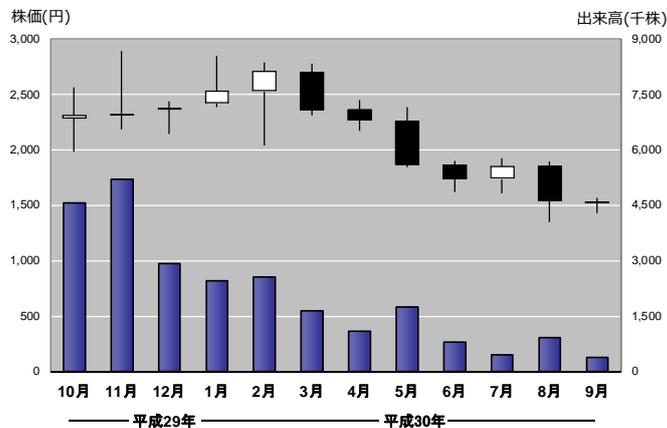


□ 株式の状況

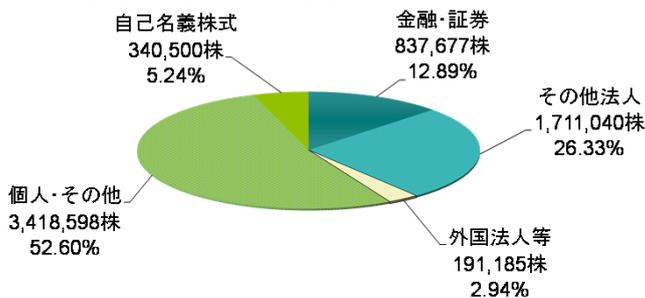
発行可能株式総数……………13,800,000株
 発行済株式の総数……………6,499,000株
 株主数……………4,358名

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社アルバック	1,329,500	21.59
小侯 邦正	602,100	9.78
有限会社小侯興産	341,440	5.54
株式会社昭和真空	340,500	—
昭和真空従業員持株会	176,252	2.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	166,400	2.70
小侯 佳子	160,000	2.59
株式会社三菱UFJ銀行	145,000	2.35
日本生命保険相互会社	115,200	1.87
株式会社みずほ銀行	96,000	1.55

□ 株価および売買高の推移(月次)



□ 所有者別株式状況(株式数)



□ 株主メモ

株主名簿管理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711(通話料無料)

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日

基準日 3月31日
 その他必要がある時は、取締役会の決議をもって予め
 公告いたします。

配当金受領株主確定日 3月31日および中間配当金の支払を行う時は9月30日

公告掲載方法 電子公告により行う。やむを得ない事由により電子公告
 によることのできない場合は日本経済新聞に掲載する。
 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

□ 会社の概要

商号 株式会社昭和真空
設立 1958年(昭和33年)
資本金 2,177,105,200円
従業員数 191名
営業種目 水晶デバイス用、光学薄膜用、電子デバイス用などの
 総合的な真空関連装置並びに真空機器等
 真空蒸着装置、スパッタリング装置、イオンプレーティ
 ング装置、ALD装置、ドライエッチング・アッシング装置、
 真空冶金(溶解、熱処理、焼結、脱ガス)装置、光学薄膜
 用モニター(多色式、単色式)、IAD冷陰極イオンソース、
 液晶注入装置、その他

取引金融機関 三菱UFJ銀行、横浜銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、
 きらぼし銀行、山梨中央銀行、城南信用金庫

□ 事業所

本社・相模原工場
 〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名3062番地10
 TEL. 042-764-0321 / FAX. 042-764-0329

□ 役員

代表取締役	小侯 邦正
執行役員社長	市川 正
取締役執行役員常務	高橋 理
取締役執行役員	久島 博美
取締役執行役員	田中 彰一
社外取締役	末代 政輔
社外取締役	山本 雅子
常勤監査役	村木 由之亮
社外監査役	千葉 睿一
社外監査役	清水 雅人

□ グループ会社および関係会社

[グループ会社]

- 昭和真空機械(上海)有限公司
 - 所在 中国上海市
 - 主な事業内容 当社装置の生産
- 昭和真空機械貿易(上海)有限公司
 - 所在 中国上海市
 - 主な事業内容 当社装置・部品の販売、
サービス・メンテナンス



株式会社エフ・イー・シー

- 所在 埼玉県狭山市
- 主な事業内容 マグトラン(歯のない歯車)の製造・販売



[関係会社]

- Sansei-Showa Co., Ltd. USA
 - 所在 米国オハイオ州

□ IRカレンダー

11月 第61期 第2四半期決算発表	6月 第61回 定時株主総会
2月 第61期 第3四半期決算発表	経営報告会
3月 31日 第61期 決算日	有価証券報告書提出
5月 第61期 決算発表	8月 第62期 第1四半期決算発表
	9月 30日 第62期 第2四半期 決算日